

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
高次脳機能障害治療学			必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小沢 健一 他		C305	k-ozawa		水曜 9:00~10:40	
授業の目的・概要	セラピストが臨床場面で接する、中枢神経系疾患、精神疾患、認知症、発達障害などの多くは高次脳機能障害である。さまざまな高次脳機能障害の症状を理解し、「どのような場面に對して問題を起こすのか」「評価や治療はどうしていけばいいのか」など、その概要を学び、さまざまな高次脳機能障害の機序・症状の理解・評価・治療に必要な知識を身につけることを目的とする。 この講義はメール等による課題提示、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。					
学習上の助言	中枢神経系の理解、神経心理学や高次脳機能学で学んだ知識が必要。中枢神経系の理解に自信のない学生は早めに質問に来ること。講義は教科書を中心に行うので予習復習は行うこと。					
教科書	高次脳機能障害学第2版/著:石合純夫/医歯薬出版/2012					
参考書	〈神経心理学コレクション〉失われた空間/著:石合純夫/医学書院/2009 他 神経心理学コレクションシリーズ 医学書院					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	神経ネットワークの概略を理解し、説明できる。				OT(2)	
②	CT、MRI 画像から高次脳機能障害を推測できる。				OT(2)、(3)	
③	左半球と右半球に特徴的な高次脳機能障害を理解し、説明できる。				OT(2)	
④	認知症、記憶障害、注意障害、遂行機能障害を理解し、説明できる。				OT(2)	
⑤	各高次脳機能障害における評価や治療を選択できる。				OT(2)、(3)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	高次脳機能障害の基礎知識を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 1-10p を読み、レポートにまとめる。			3
2	画像診断のポイントを学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 10-21p と配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			3
3	失語・失読・失書を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 23-57p、資料映像と配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			4
4	左半球症状・失行を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 61-88p、資料映像と配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			4
5	行為・行動の障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 88-107p、資料映像と配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			4
6	右半球症状・視覚失認を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 109-123p、配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			4
7	失認と関連症状・聴覚障害・触覚障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：課題提出後に質問や解答をまとめ配布。常時メール等のやり取りを行う。	印刷教材等での授業	教科書 123-149p、配布スライドにそって学び、後日送付する確認テストを用いて自らの学習を振り返る。			4
8	半側空間無視を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 151-174p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。			2
9	外界と身体処理に関わる空間性障害を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 174-192p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。			2
10	注意と注意障害を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 193-197p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。			2

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

11	記憶障害を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 197-220p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
12	遂行機能障害を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 220-235p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
13	認知症・せん妄を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 237-262p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
14	外傷性脳損傷による高次脳機能障害を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 262-274p で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
15	各種検査バッテリーの使い方を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	この講義で出てきた各種テストバッテリーを実際に行う。	2
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法		
	試験	①			②	③
レポート	①	②	③	④	⑤	⑥
成果発表	①	②	③	④	⑤	⑥
ポートフォリオ	①	②	③	④	⑤	⑥
その他	①	②	③	④	⑤	⑥

備 考

**担当教員：**◎小沢健一

高次脳機能学や神経心理学をしっかり復習しておくこと。

**教員の実務経験：** 作業療法士として 25 年以上の臨床経験。

**実践的授業の内容：** 臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。

**印刷教材等での授業：** メールにて配信を行い、課題はメールにて返信を行います。

**双方向型授業：** Microsoft Teams を使用して行います。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意してください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により再度シラバスの変更がありうる可能性があります。